**『ジョージ・エリオット研究』(*The George Eliot Review of Japan*) 投稿規程・チェックシート**

**＜投稿規程＞**

1. 投稿者は原則として日本ジョージ・エリオット協会会員であること。

.

2. 論文は未発表のものであること。ただし、すでに口頭発表し、その旨明記している場合は、審査対象とする。

3. 論文原稿は、原則としてMicrosoft Wordで作成し、A4用紙に横書きしたものとする。日本語論文の場合は、1頁35字×30行で17頁以内、英語のシノプシス600語以内（ネイティヴチェックを受けることを推奨する）。英語論文の場合は7,000語以内（ネイティヴチェックを受けることを推奨する）。上記の長さには本文および注を含むが、表、グラフ、数式、図版および論文末尾に加える引用文献についてはこの制限外とする。また、図版等は、挿入箇所と大きさを原稿の中で指定すること（例：原稿のp. 5に20字×25 行の大きさで図1を挿入）。

以上の点をチェックシートに記入し、確認する。チェックシートの詳細については、学会ホームページの「投稿規程・チェックシート」（http://www.g-eliot.com/ronshu）を参照のこと。

4. 論文原稿１部とチェックシート１部を、添付ファイルで、日本ジョージ・エリオット協会事務局（georgeeliot.japan@gmail.com）に送付する。

5. 書式上の注意

イ. 原則として、日本語はMS明朝、英語はTimes New Romanを使用。

ロ. タイトルは14ポイントで太字、章題は12ポイントで太字、氏名・本文・注・引用文献等は12ポイント、独立引用文は11ポイントとする。

ハ. 注と引用文献は、それぞれ分けて原稿末尾にまとめて付けること。

ニ. 本文中の注番号は、句読点の外につける。

ホ. 外国人の人名、地名、書名等は、必要と判断した場合、初出の箇所で原名を書く。その際、必要とあれば、日本語訳をつけることも可。

へ. 年号、日付、その他の数字は半角にする。

ト. 独立引用文に関しては、日本語の場合、2字分インデントし、英文の場合、4ストローク分インデントする。また、引用文と本文の間は、前後1行ずつあける。

チ. その他、書式の細部に関しては、原則として、*MLA Handbook*の最新版に準ずる。

6. 書評原稿は、1頁35字×30行で8頁程度以内を基本とする。その他の規定や書式については、論文原稿に準ずる。ただし、英語のシノプシスを付ける必要はない。表題（書物の情報）は、著者（編者）名・タイトル・シリーズ名・出版社・出版年・頁数等を記載する。表題の記載例は学会ホームページの「投稿規程・チェックシート」（http://www.g-eliot.com/ronshu）を参照のこと。

7. 原稿の採否および掲載の時期は編集委員会が決定する。

8. 原稿の締切日は4月1日（厳守）とする。

9. 執筆者の校正は初校のみとする。校正は植字上の誤りに関するもののみとし、内容に関する訂正加筆は原則として認められない。

10. 掲載された論文等は一定期間（原則一年間）を経た後に電子化され、インターネット上に公開される。公開を望まない場合は、事務局に申し出ることにより、非公開とすることができる。

**日本語引用文献記載例**

|  |
| --- |
| **木**下未果子.『共鳴するジョージ・エリオットとヴァージニア・ウルフ―「私」から「私たち」へ』. 彩流社, 2018.  ジョージ・エリオット. 『回想録―ヨーロッパめぐり』. 冨田成子訳, 彩流社, 2018. |

**書評の表題（書名などの情報）の記載例**

|  |
| --- |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 論文：和文表題  書評：書名などの情報 | **Dermot Coleman*, George Eliot and Money: Economics, Ethics and Literature***  (Cambridge Studies in Nineteenth-Century Literature and Culture)  (Cambridge University Press, 2014) vii+ 226 pp.  記載上の注意：  (1)「著者（編者）名・タイトル」は14ポイントで太字とする。  (2)「その他の情報（シリーズ名・出版社・出版年・頁数等）」は12ポイントとする。  (3)シリーズ名は（　）の中に入れる。 |
| **N. N. Feltes, *Modes of Production of Victorian Novels***  (The University of Chicago Press, 1986) xiii＋125 pp. |
| **Elinor Shaffer and Catherine Brown, editors, *The Reception of George Eliot in Europe***  (The Reception of British and Irish Authors in Europe)  (Bloomsbury Academic, 2016) lvi+453 pp. |
| **木下未果子著『共鳴するジョージ・エリオットとヴァージニア・ウルフ―「私」から「私たち」へ』**  （彩流社、2018年）294+viii pp.  記載上の注意：  (1)和書の場合、副題にはダッシュを使用。ただし、副題の後ろにはダッシュは入れない。 |
| **ジョージ・エリオット著、冨田成子訳 『回想録―ヨーロッパめぐり』**  （彩流社、2018年）310 pp. |

**＜チェックシート＞**

**『ジョージ・エリオット研究』に投稿の際、原稿に添付してください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 該当するものを〇で囲んでください | | | 論文　　　書評 |
| 論文：和文表題  書評：書名などの  　　　情報 | | |  |
| 英文表題  （書評の場合は  　不要） | | |  |
| 氏 名 | 漢字 | |  |
| ふりがな | |  |
| ローマ字 | |  |
| 原稿内容 | | | 字数：日本語論文 [日本語A4用紙1頁35字×30行で17頁以内]（ ）頁  英語論文 [7,000 語以内] （ ）語 表：（ ）枚・図：( ）枚・写真：（ ）枚  書評原稿[日本語A4用紙1頁35字×30行で8頁程度以内]（ ）頁 |
| 自宅 | | 郵便番号 |  |
| 住所 |  |
| 電話番号 |  |
| メール |  |
| 所属先 | | 所属研究教育機関と身分 |  |
| 連絡先 | | 郵便番号住所 |  |
| 電話番号 |  |
| メール |  |

＊著者校正などの送付先として、ご希望があれば、自宅・所属先のいずれかを〇で囲んでください。

＊送信後は、事務局からの受領確認のメールを必ずご確認ください。  
　受領確認のメールが届かない場合は、再送信をお願いします。

**【添付ファイルで事務局に送付する物】**

□ チェックシート１部 □ 原稿 １部 □ 英語のシノプシス（日本語論文の場合のみ）1部

**【原稿形態】**

□ Microsoft Wordで作成しているか

□ 字数・行数は守られているか

□ 書式は*MLA Handbook*の最新版に準じているか